

7.画像件数

臨床評価指標項目	2017(平成 29)年度	2018(平成 30)年度	2019(平成 31/令和元)年度
一般撮影	117,745	119,508	128,934
透視撮影	6,584	7,126	7,947
血管撮影	3,788	3,737	3,844
CT 撮影	48,715	52,200	51,430
MRI 撮影	16,866	16,582	16,792
核医学検査	2,734	2,479	2,470
マンモグラフィー検査	5,340	4,735	4,439
合計	201,772	206,367	215,856

◆救命センターで撮影した件数も含まれます。

解説

総検査件数は 215,856 件、画像センターでは 1 日およそ 800 人の患者さんの画像検査を行っています。24 時間 365 日すべての画像検査に対応し、常駐放射線科医師による読影体制が確保されており、CT・MRI・核医学検査の翌日読影率は年間を通して 87%を下回る事はありませんでした。

総検査件数は昨年よりおよそ 5%、10,000 件ほど増加しました。

CT、MRI 検査件数は昨年とほぼ横ばいですが、CT 検査は短時間でたくさんの情報を簡便に得られる事から様々な診療科で広く用いられます。欠点は医療被ばくが他の検査に比べて多い事ですが、当院は医療被ばく施設認定を取得しており、安心して検査を受けて頂けるよう適正な線量管理が行われています。

MRI 検査は様々な診療科で検査ニーズが高く、年間を通して検査待ち日数を 2 週間以内にするよう日頃から努力しています。

核医学検査件数も昨年とほぼ横ばいですが、2023 年 1 月開設予定の新病院には PET-CT や SPECT-CT など最新医療機器が導入され、将来は核医学検査件数の増加が期待できます。

透視検査件数は年々増加傾向にありますが、内視鏡検査の普及と進歩により安全かつ迅速に手技を行うため補助的に透視を用いるケースが増えているためです。

新病院には内視鏡センターに X 線透視装置が導入され、スムーズに検査が行えるため、更なる検査件数の増加が期待できます。